

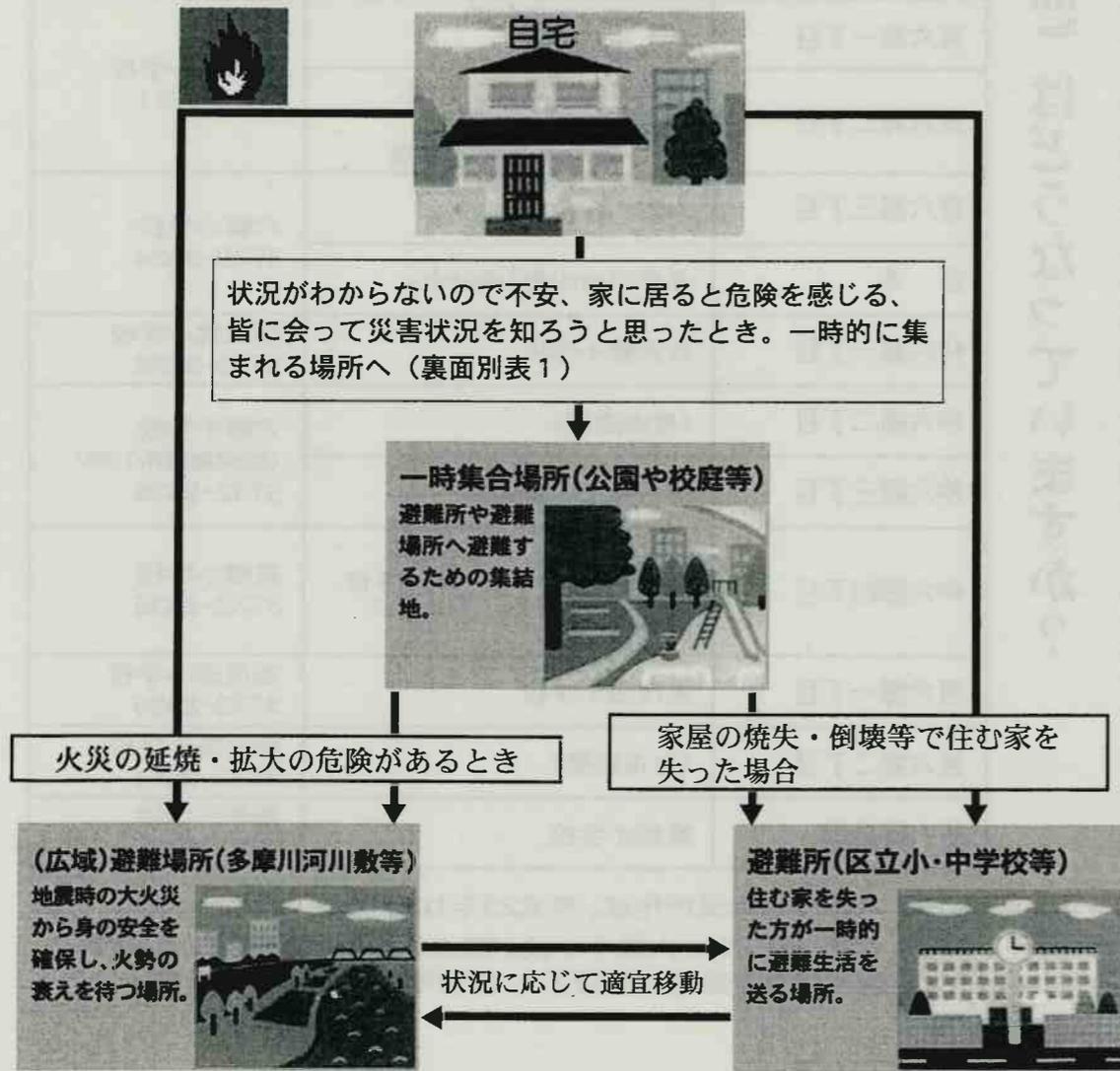
六郷特別出張所管内	
人口	男 32,892人
	女 30,964人
	計 63,856人
世帯数	31,266世帯
平成23年10月1日現在	

# 六郷わがまち

発行：地域力推進六郷地区委員会  
 編集：「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局：大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055 大田区仲六郷2-42-2  
 電話 03(3732)4885  
 FAX 03(3735)6249  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts.rokugou/index.html>

災害の規模や状況により、避難の場所が変わります！

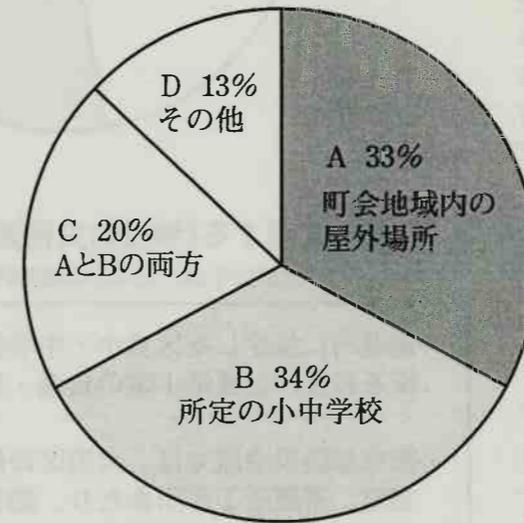
## 避難の場所・再点検！



上記及び裏面別表1は、家屋の倒壊や火災を想定したもので、津波や洪水における避難方法については行政で再検討中です。

町会・自治会の避難の場所(一時集合場所)を回答したのは、5町会でした。ここが、最初に避難する場所であることが、地域の皆さんに、あまり知られていないように思われました。地域内に相応しい場所がないためか、小・中学校(避難所)へ直接避難するとの回答が3割ありました。また、一時集合場所は自由に選択するとの回答が1割ありました。

グラフ①  
設問：避難の場所はどこですか？



その結果は、AからDまでと多様でした(グラフ①)。最初に避難する場所が町会・自治会によって、バラツキが見られたことは、同じ「六郷」に住む人が、互いに守り合いながら避難するために迷いが生じるかもしれません。設問の表現が、やや言葉足らずの箇所があり、回答に混乱が生じたことは否めませんが、避難の場所の認識が町会・自治会間でかなり違っていることが見てとれます。そこで本紙では、区が作成した資料を用いて、地域の皆さんとともに、どこに避難すればよいか、再確認したいと思います。

災害時の『避難の場所』を知っていますか？  
 東日本大震災は、われわれに地域の防災力とともに「避難」の重要さも教えてくれました。本年六月、「六郷わがまち」では、都が公表したマグニチュード7.3の首都直下地震を想定して作成された「大田区地域防災計画」をベースに、災害直後、最初にどこへ避難するか、全15町会・自治会へアンケートを実施しました。

別表1 町会・自治会別、一時集合場所と避難所<sup>(注1)</sup>

町会・自治会名	一時集合場所	避難所
南六郷一丁目	萩中一丁目公園、 いずも公園、町民広場	出雲小学校 3742-3542
南六郷二丁目	南二和児童公園、 トミンハイム南六郷二丁目	南六郷中学校 3732-9351
南六郷二丁目団地	南六郷公園	
南六郷三丁目	南六郷小学校	南六郷小学校 3735-3910
東六郷一丁目	東六郷一丁目公園、 東六郷小学校	東六郷小学校 3732-9311
東六郷二丁目	東六郷二丁目児童公園、 町会会館前、 コープ野村東六郷駐車場	
東六郷三丁目	六郷小学校	六郷小学校 3732-9628
宮本	多摩川河川敷(検討中)	
仲六郷一丁目	仲六郷小学校	仲六郷小学校 3732-8338
仲六郷二丁目	(自由避難)	六郷中学校 (医療救護所) <sup>(注2)</sup> 3732-9338
仲六郷三丁目	仲六郷三丁目公園	
仲六郷四丁目	仲四児童遊園、六郷温泉前、 日神デュオステージ六郷土手前、 パークハイツ多摩川集会所前、 東陽院	高畑小学校 3732-8335
西六郷一丁目	志茂田小学校	志茂田小学校 3732-8325
西六郷二丁目	(自由避難)	西六郷小学校 3732-9611
西六郷高畑	高畑小学校	高畑小学校 3732-8335

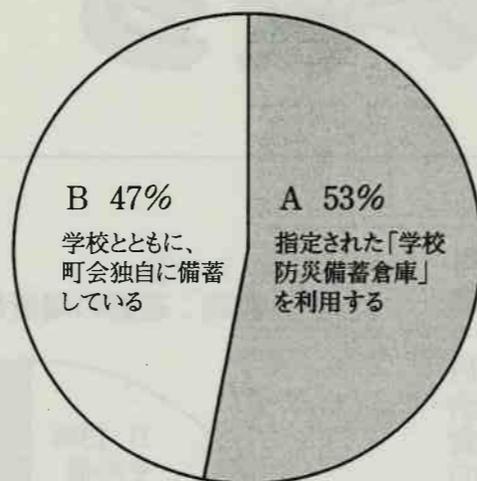
(注1) 六郷特別出張所作成、平成23年10月現在

(注2) 六郷地区では、六郷中学校が医療救護所に指定されています。  
医療機材や薬品が配備され、医師等が治療にあたります。

### 避難所での『備蓄品』はどうなっていますか？

自宅が被害に遭って戻れないとき、避難所で生活を送る場合が生じます。アンケートでは、食物、飲物や寝具などの備蓄状況も調査し、左円グラフの回答を寄せていただきました。

グラフ② 設問：避難所での『備蓄品』は大丈夫ですか？



知って得する『学校防災備蓄倉庫』\* 豆知識<sup>(注3)</sup>

平成22年9月、大田区地域振興部 防災課作成

- ・避難所に指定した区立小・中学校 91か所に防災備蓄倉庫を設け、必要最小限の食糧・日用品などを備蓄。
- ・東京都防災会議では、大田区の避難者数を約20万人と想定。避難所1か所あたり、約1,500人受入れが可能。
- ・食糧備蓄量は、被害想定者の約1日分。2日目以降は東京都が備蓄し調達する。
- ・食糧品目は、クラッカー、アルファ化米、おかゆなど。これらの賞味期限は5年。期限前に入れ替えを行う。
- ・乳児には、約3日分の粉ミルク、ミネラルウォーターと、熱源のカセットコンロと哺乳びんが備蓄されている。
- ・仮設トイレは、断水を想定して、被災者約100人に1台程度の割合で備蓄。今後、下水管利用トイレを検討中。
- ・給水コップなど給食用器材、発電機・投光器・乾電池・ラジオなど情報入手機材、毛布1,500枚など。

\*『学校防災備蓄倉庫のしおり』は、六郷特別出張所でも配布しています。

### 備えあれば憂いなし！

その結果、区が準備した各学校の備蓄(注3)だけでなく、約半数の町会・自治会が、自発的に食糧品や飲料品を、また発電機などの避難用資器材を備蓄していることがわかりました(グラフ②)。避難所に対応しきれない方々に、町会・自治会が独自に対応することも想定しているようです。

「共助」や「公助」もさることながら、まずは「自助」すなわち自分のことは自分で守る、自分で準備することを、普段から心がけたいものです。

……………各町会・自治会の皆様には、5項目のアンケート調査に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。紙面の関係で2項目のみに着目しましたことを付記します。……………